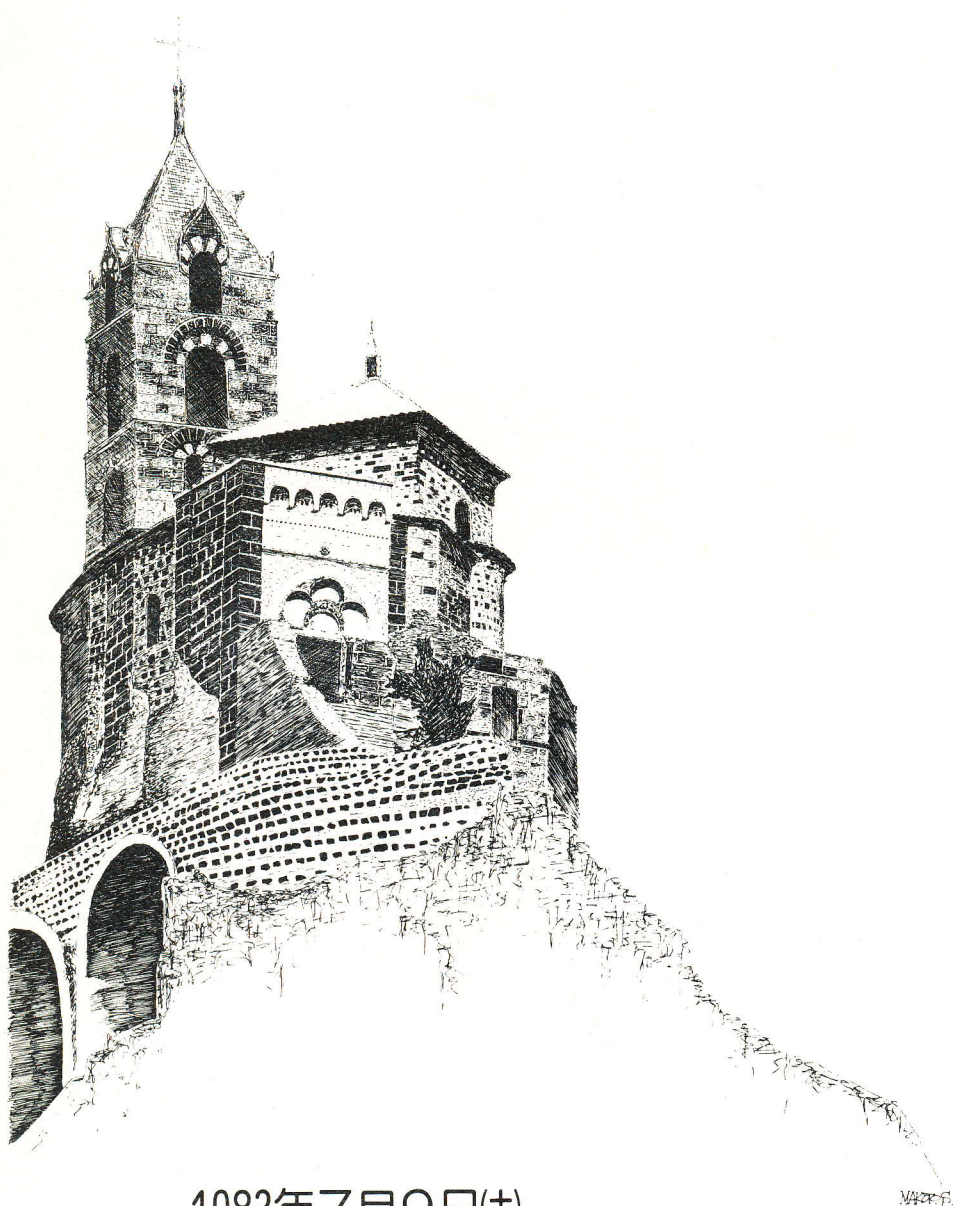


SUMMER CONCERT



1983年7月9日(土)
6:30^{PM}開演
神戸文化ホール(大)

神戸大学交響楽団

プログラム

歌劇「ザンパ」序曲……………エロールド

指揮 逢坂賢司

バイオリン協奏曲 二長調……………チャイコフスキー

指揮 田中一嘉

独奏 景山誠治

————— 休 憩 —————

交響曲 第5番 ハ短調「運命」……………ベートーヴェン

指揮 田中一嘉

御 挨拶

神戸大学経済学部教授 新保 博

暑い夏の訪れとともに、恒例の神戸大学交響楽団サマー・コンサートのシーズンを迎えることになりました。4月から新しいメンバーを加え、交響楽団全員が新たな気持で日夜練習にはげんでまいりましたが、その成果を皆様に聴いていただけることは、われわれにとって無上の喜びです。

今回のプログラムは、ベートーヴェンやチャイコフスキーの名曲をとり上げておりますが、新進気鋭の指揮者と独奏者を迎えることができました。青春のもつ喜び、華やかさ、甘さ、力強さ、を十分に味わっていただけるものと確信しています。ミューズの神とともに歩むわれわれに、今後とも暖かい御声援をお願いいたします。

では、ごゆっくりと美しい音楽をお楽しみ下さい。

響友会々長 岩崎 純一

酷暑の候を迎えましたが、本日は恒例により神戸大学交響楽団によるサマーコンサートを開催いたしました処、皆様には多数ご来場下さりまして誠に有難うございます。何日も変らぬご支援を賜り厚く御礼申し上げます。今回は景山誠治氏によるチャイコフスキーのヴァイオリン、コンチェルトとベートーヴェンのシンフォニー『運命』を演奏することになりましたので団員一同は充分練習を積み重ねて参りました。その情熱と努力の結晶を充分発揮されんことを祈念いたす次第であります。どうか最後までごゆっくり、ご静聴をお願い申しあげて歓迎の辞といたします。

